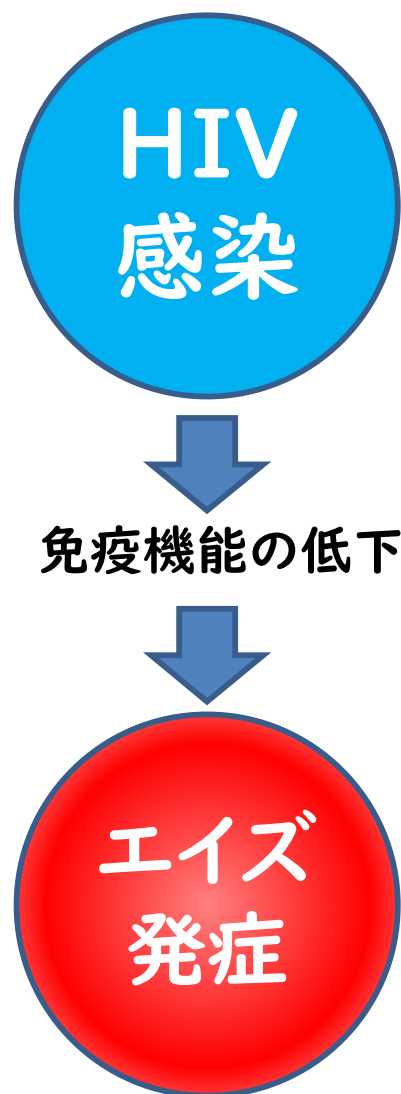


社会福祉施設で働くみなさんへ

HIV/エイズについて知ろう
2025年12月

大津市保健所 保健予防課
介護保険情報提供会

HIV感染＝エイズではない



HIVとは Human (ヒト)
Immunodeficiency (免疫不全)
Virus (ウイルス)

HIVは免疫の指令塔である
「CD4T細胞」に感染し、破壊する

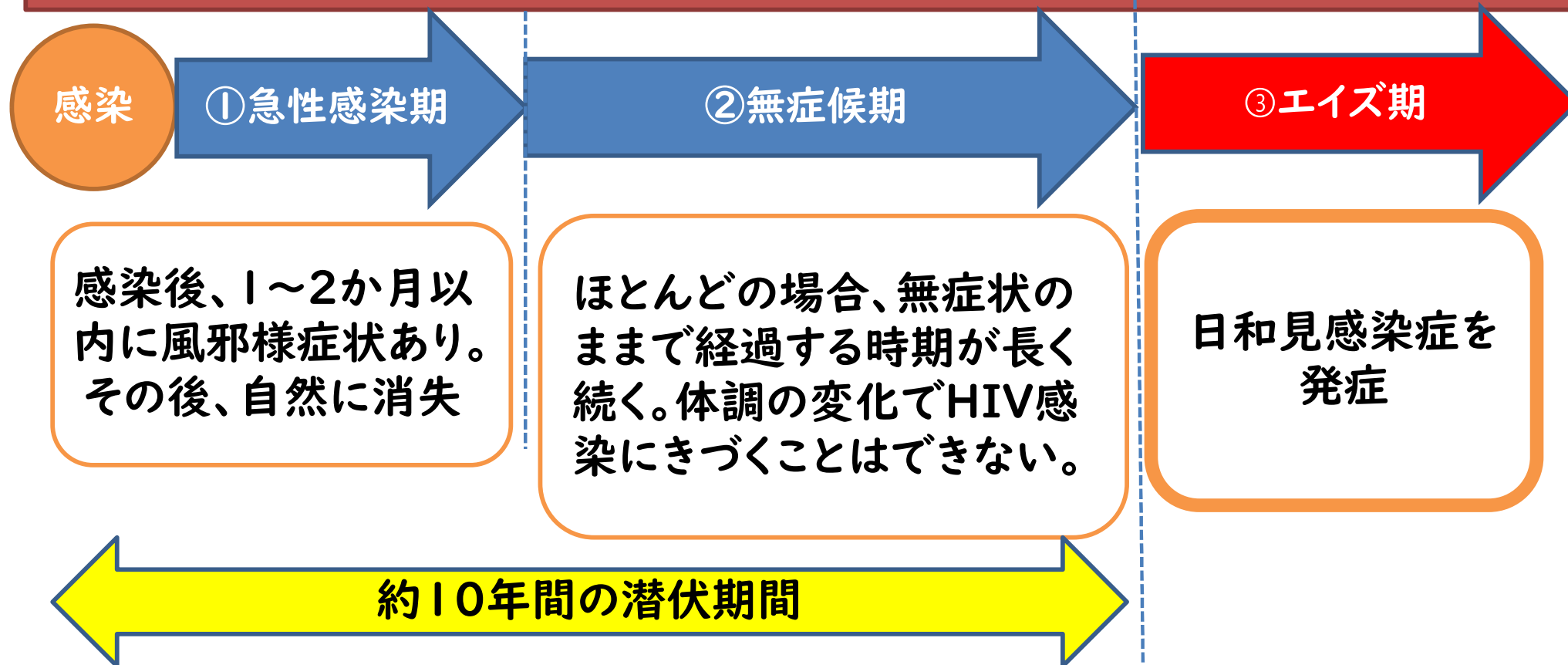
体から徐々に免疫機能が失われていく

健康な人であれば何でもない細菌やウイルス、
カビ等に抵抗できなくなり、病気にかかりやすくなる

エイズとは Acquired (後天性)
Immunodeficiency (免疫不全)
Syndrome (症候群)

HIV感染症の症状

HIV感染症の経過



検査を受ける以外にHIVに感染しているかどうかを知る方法はない

HIVの感染経路

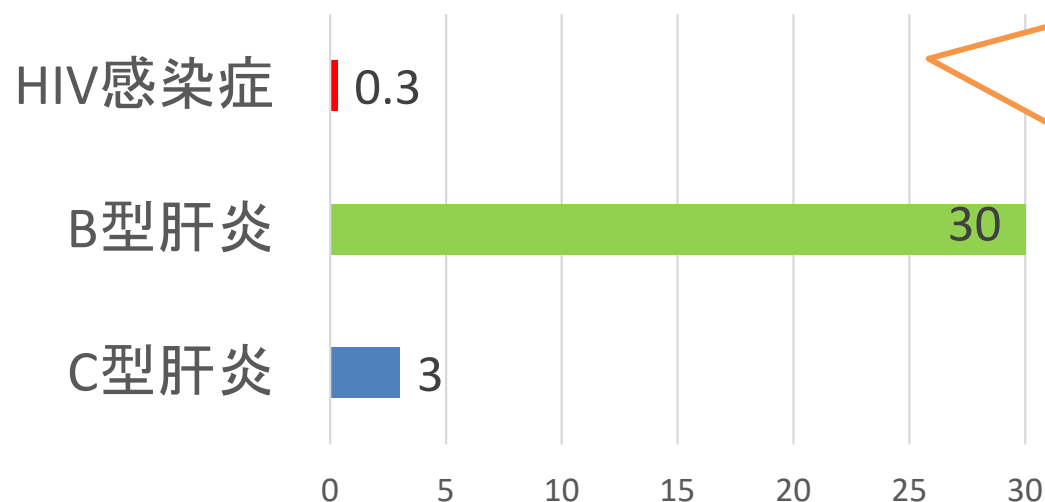
性行為による
感染

血液による
感染

母子感染

ウイルスが粘膜や傷口から体の中にある程度の量が入ることにより、初めて感染の可能性が生じます

針刺し事故の場合の感染率



HIVは感染力の弱いウイルスで、少量では感染しない。熱や塩素に弱く、人の体の中に入らなければ生きていけない。

こんなことでは感染しません

大丈夫

咳、くしゃみ、汗
涙に触れても

大丈夫

洋式トイレを
共有しても

大丈夫

体に触れても
握手をしても
軽くキスしても

気を付けるポイント

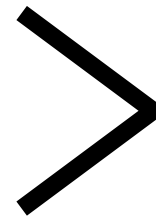
ただし……HIVは傷口や粘膜から体内に入り込みます。
血液などに傷口や粘膜が触れないように注意する！

- 傷口や粘膜を守る
- 血液のつきやすい日用品は共有しない
(例：歯ブラシ・剃刀・くし・ブラシ・ピアスなど)

大事ななのは標準予防策

血液や体液等は基本的に「感染性のあるもの」
として取り扱うこと

一般的な
標準予防策



HIV感染の
予防策

標準予防策で定められた日常のルールを守っていれば、HIV感染の心配はない。



基本の
4原則



手洗いの実施



使い捨て手袋
の使用

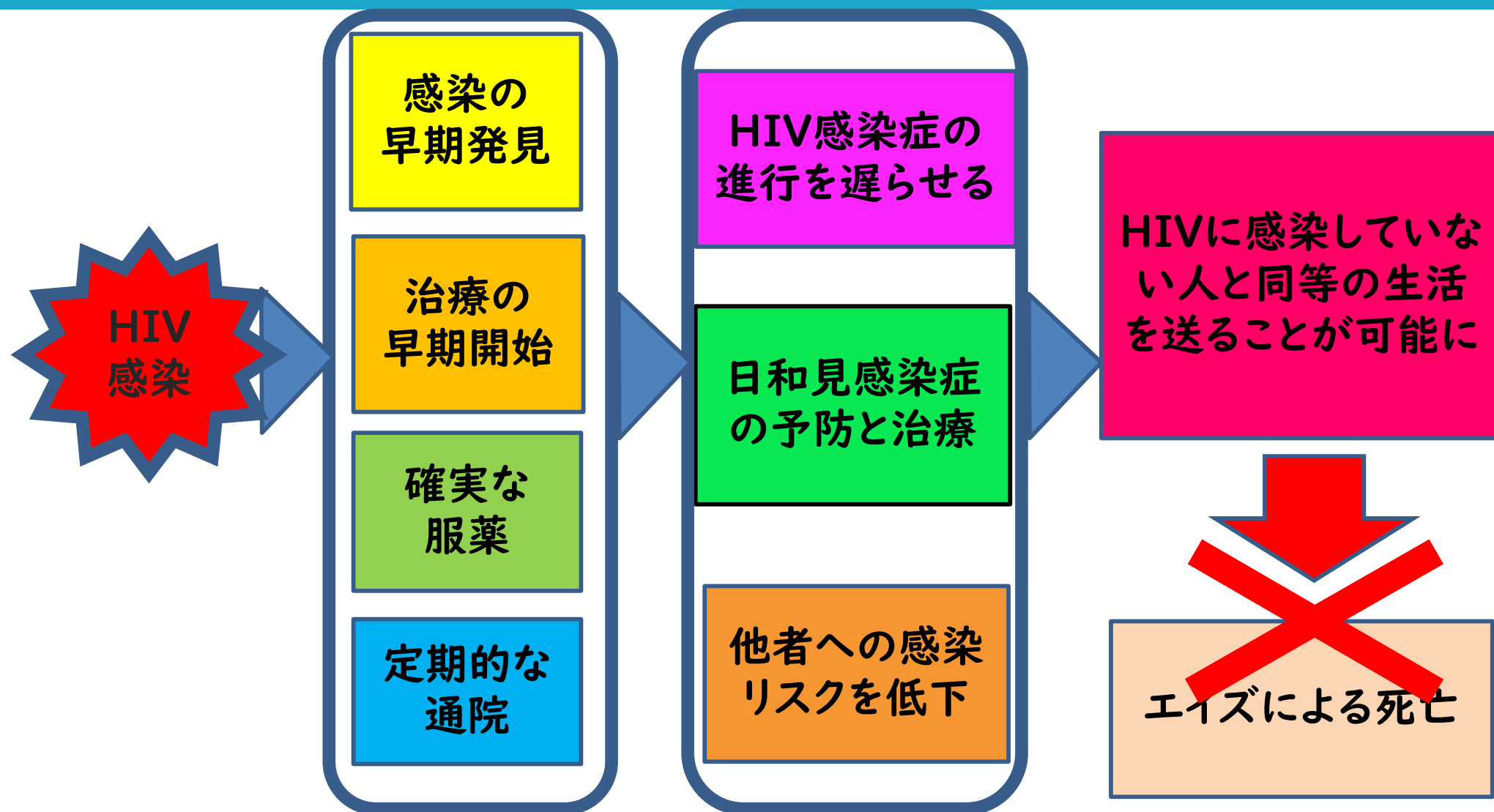


マスク・ゴーグル
・ガウンの使用



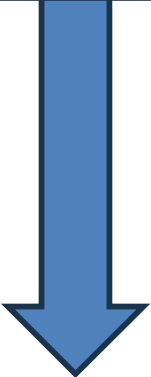
物品の個別化

HIV感染/エイズ=死ではありません



HIV陽性者・エイズ患者の高齢化について

医療の進歩でエイズは「死の病」ではなくなった

- 
- ・エイズによる死亡率は劇的に減少し、HIV感染症は慢性病の一つとして考えられるようになった。
 - ・高齢化の進行や他の病気の併発等により、自立困難で助力を求めるHIV陽性者が増えてきた。

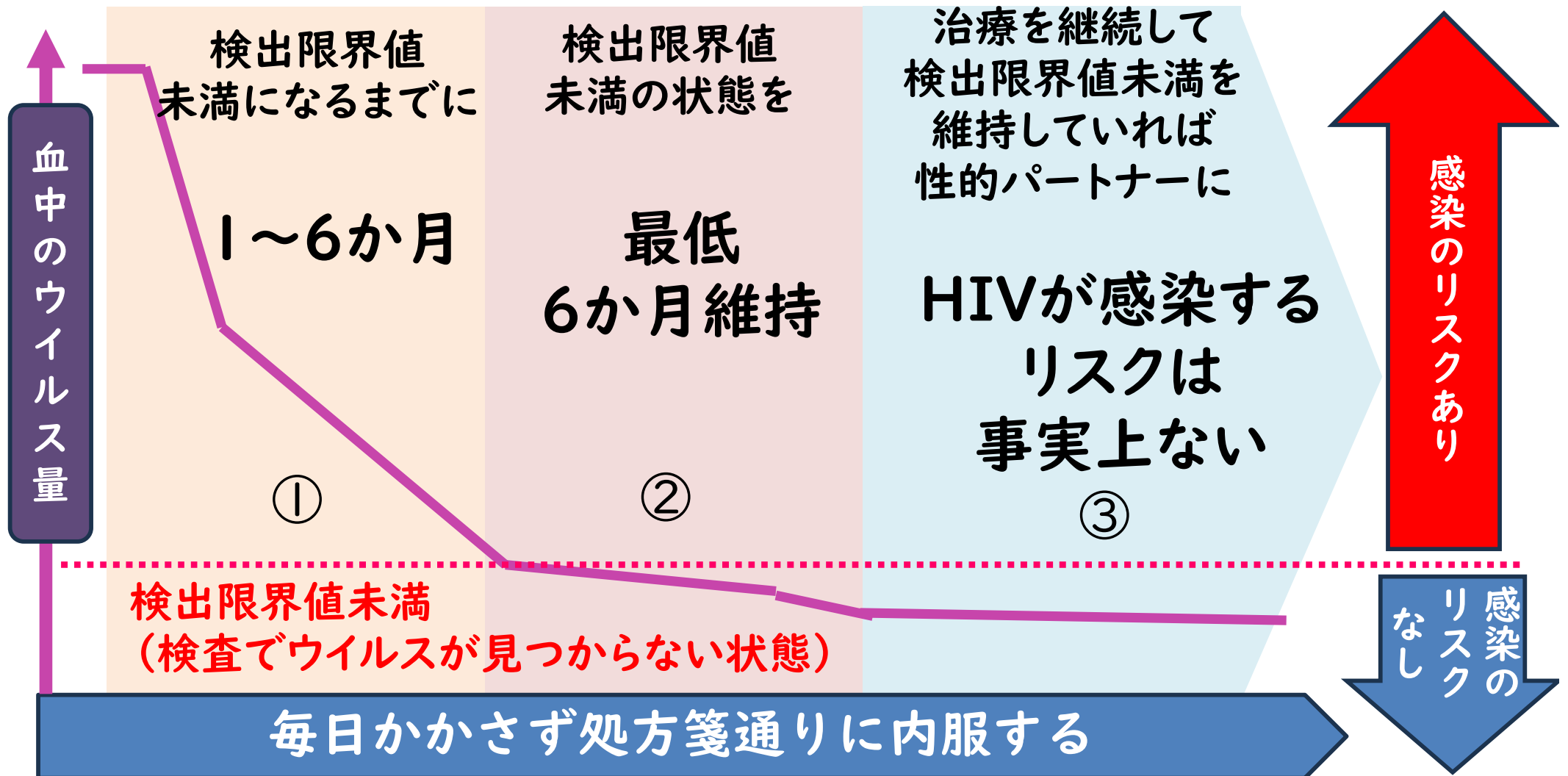
HIV陽性者の受入先として、福祉施設への期待が高まっています。

社会福祉施設で働くみなさんは、施設利用者の人権が守られるよう、配慮して行動してください。



U=U

Undetectable=Untransmittable



【引用】特定非営利活動法人 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラスより

12月1日は世界エイズデー

U=U
Undetectable = Untransmittable
(検出限界値未満) (性感染しない)



HIV治療は進歩しています

一人ひとりが、「HIV/エイズ」を正しく知ることから始めていきましょう。